

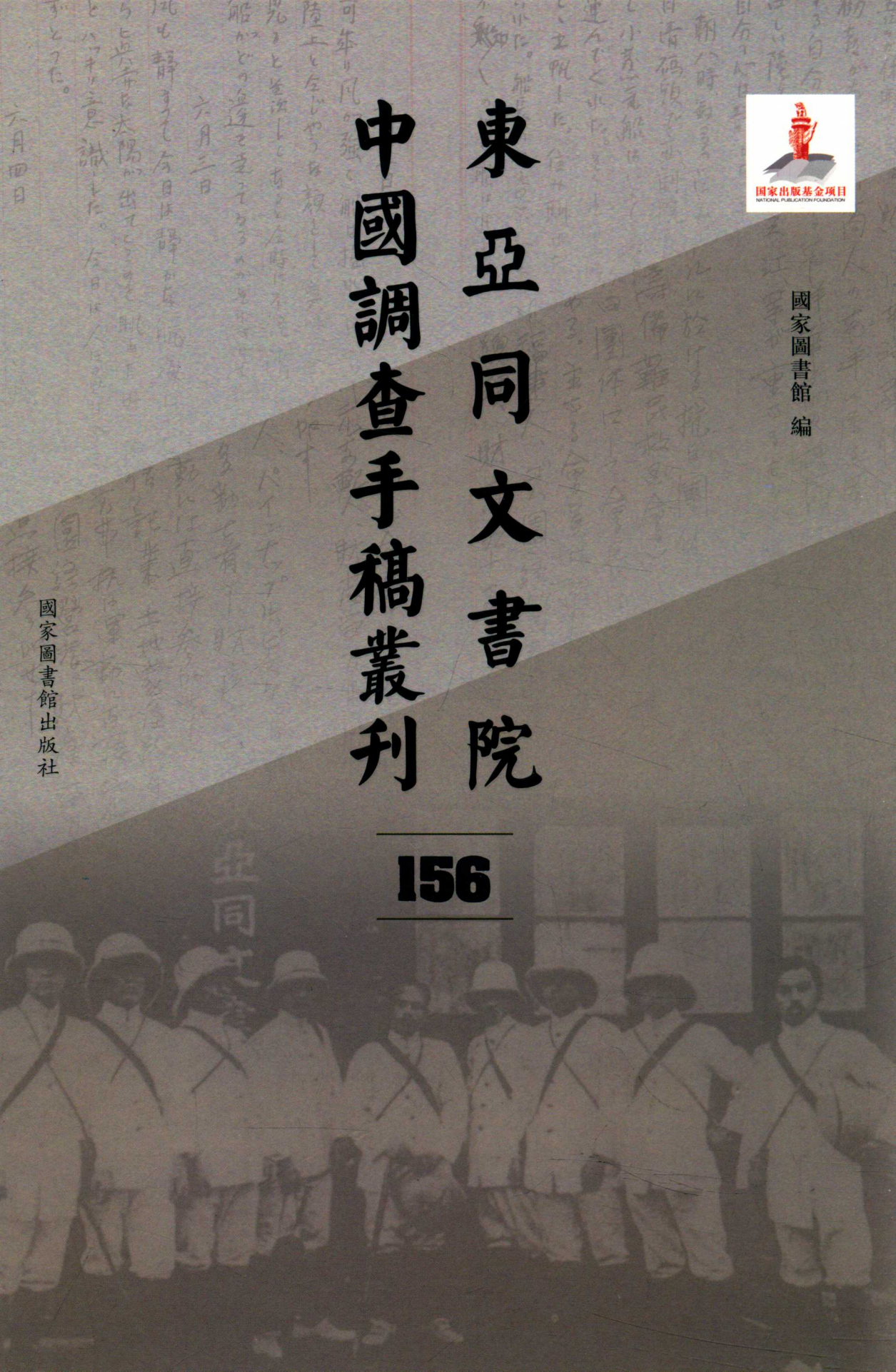


國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

156

國家圖書館出版社





國家出版基金項目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

國家圖書館
編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

156

國家圖書館出版社

第一五六冊目錄

昭和十三年（一九三八）調查報告（第三十五期生）

佔領地域内ニ於ケル北支經濟ノ概況、北支金融工作

華北佔領區經濟概況、華北金融工作 荻下利明 渡邊健次……………一

北支紡績業

華北紡織業 横尾幸隆 本土敏夫 田浦正成……………一三七

北支那の農業に就て

關於華北的農業 細萱元四郎 細川正直……………三七七

蒙疆地域に於ける金融經濟

蒙疆地區的金融經濟 望月今朝男 上野善臣 小川弘一 内坂旌旗……………四三九

北支那經濟工作ノ發展

華北經濟工作的發展 新行內義兄 八木友愛

四八九

和十三年度

大旅行報告書

渡邊健次
荻下利明

第五期

同文書院

圖書印

大旅行報告書

北支經濟調查第一班

萩下利明
渡邊健治

調査報告書

北支經濟調査班第一班

萩 下利明

渡邊健治

第一部「占領地域内ニ於ケル北支經濟、概況」

序 文

・アワタダシイ旅ノ中ニ送ツタニケ月ノ間ニ隨分広範圍ニ亘ル
北支經濟ヲ調査セントシタ事 事変下ノ實地調査ハ
頗ル其ノ範圍ノ制限ヲ受ケタ事（鐵道沿線以外ハ殆んど

深く立入ル事ノ出来ナイ状態ニアツタ事）更ニ重要ナルハ
北支ノ各經濟状態ハ急速ナルてんぼヲ以テ變化シツ、アル
事 等ノ理由カラシテ我々ノ調査ハ殆ンド結實ヲ成サナク
タ事ヲ先ヅ表白シナケレバナラナイ。只僅カニ汽車ノ窓カラ
見タ北支ノ平野ト大都滯在中ニ土地ノ有力者ヨリ聞イタ北支
ノ經濟事情ソレタケガ我々ノ得タ旅行中ノ收穫ノ總テデ
アリ而シテ今組立テントスル報告ノ資料ヲナスモノデアル。
從ツテ之ノ報告書ノ傳ヘル内容ノアマリニモ貧弱ナラン事
ヲ危惧スルモノデアル。但シ茲ニ是非トモ考慮サレバナラ
ナイ事ハソレガ戰鬪区域ト言フ特殊地帯ニ於ケル調査デ
アツタト言フ事デアル。

「六月三日」先輩ノ案内ヲ受ケテ青島紡績ノ被害ノ狀況
 ヲ視察ニ行ツタ。坦々タル車道ノ兩側ニ見エル住宅ラシ
 キモノノ破壊ノ跡ガイタマシイ。青島ノ市街ハ日本以
 地デモ見ラレナイ程美シイ。併シ一步郊外ニ出ルト其
 處ハ惡魔鬼ノ跳梁ニ委カセラレタ荒廢ノ氣ガ滿チク
 テナル。滄ロカラ四方ヘノ郊外ニ見ル光景ハ青島港口
 ニ沈没シテタ古汽船ノ姿ト共ニ先ヅ游子ノ心ヲ數チツ
 豊田紡績廠ニ立ツタ。スデニ大部分ハ取り片付ケが行ハ
 テタガソレハ文字通りニ徹底的破壊デアル。厚イコン
 クリートノ壁ガ其ノ鉄筋ト共ニ山崩レ落チテナル。床ニハ
 大キナ孔ガ幾十トナクアイテナル。僅カニ残ツタ柱ニハ衰レ
 ニモ鉄柱ガ枯レタ骨ヲ露ワシテナル。

表ノ門柱ハ崩レ、豊田紡ノ表札ガ漸ク半分其ノ面影ヲトリ
トメテ牛ル。暑イ眞夏ノ太陽ノ中ニ床ニ潜ミ込ンダ機械油
ガギラ／＼ト輝キ微カニソノ包ガ鼻孔ヲラツタ。「ヒドイデスネ」
先輩ハ黙ッテウナヅイタ。

「六月五日」我々ハ九一日正午ニハ十六時間膠済線ヲ走ツタ
ハデアル。蒸セ返ル様ナ山東平野ノ眞只中ヲエツナラ
オツチヲト走ッテ行ツタ。小一時間モ走ッテヤット寒村ノ
驛ニツク事ガアル。何處ノ驛ニモ兵隊サンガ斗テ乗客ノ
検査ヲシテ牛ル。途中何度モ汽車ハ止ツタ。鉄橋ニカハル
ト徐行シナケレバナラナカツタ。

橋ノ袂ノ両側ニハ眞新ラシイトーチカが築カレテ兵隊サン
 が警戒ヲシテナル。何レモ皆懷シゲニ手ヲ上ゲテオーイ
 ト呼ビ掛ケル。コナラモ手ヲ振ツテ見セル。假鉄橋ヲ渡ル
 事モアル。本鉄橋ハ河中ニ折レ込ニテ斗テ橋脚ガ顯ハニ白
 イ骨ヲムキ出シテナル。沿線ノ所々ニ脱線シタ貨車ヤ
 客車が残骸ヲ横タヘテモ何ヶ月モノ儘ニナツテナルデ
 アラウ鉄輪ニハ赤イ錆が見エル。カト思フト昨夜敗殘兵
 討伐ニ行ツタノダト云フ兵隊サン達ガドヤクト乘リ込ム事
 ガアル。ユウベノ敵匪ノ襲撃ニ未ダ興奮ノ餘波ノ醒メナイ
 小驛ヲ通過スル事モアツタ。膠濟線ノスベテが創夷ト
 不安ニ包マレテナル。全ク何ニモ氣付カズ吞氣ニ旅ヲシテナル
 自分達ヲ振リカヘツテ思ハズ赤面セサルヲ得ナカツタ。

六月八日 暑イ濟南、朝・天津ニ向フ汽車ニ乗リ込ンダ。

支那人モオドクシナガラ詰メ込ンデ来ル。何レノ顔モ不安
ナ表情デ充タサレテナル。シカシソレハ戦争ノ不安デハナク
自ノ前ニ立ツテナル日本人ノ威カノ前ニ戰イテナルカノ如ク
デアル。破壊サレタ黄河ノ鉄橋ハ修理モ大部分完成シテ
ナル。増永ノ爲カ眞紅ニ近イ水カソレデモ白イ波頭ヲ見セ
テ岸ヲ噬ミナガラ狂達シテナル。目ニ見エル限リノ平野ニハ
麥ガ熟シテ黄色イ空氣ガ太陽ニ照ラサレテ膨脹シ切ツテ
ナル。時々キラ／＼ト光ル水面ガ遠クニ見エル。カト思フト
線路ニ沿ツテ一面ノ湖ガ何處マデモ續イテナル。電柱ガ
水中カラ柱ノ頭ヲ出シテナル。麥ラシイ作物ガ水ノ上ニ眞白
イ穂ヲ漂ヨハセテナル。ソレハ随分ト廣イ面積デアル。

7
昨年カラノ洪水ナニデスヨトヨク此處ヲ往來スルラシイ
日本人が教ヘテクレタ。何處迄モツヅク水面ヲ眺メナガラ
嚙ニ聞ク水禍ノ暴威ニ言ヒ知レヌ不安ヲ抱イタ。
神ニ祈ル氣ニナツタ。マコトニ恐ロシイ暴威ダ。

六月二十三日「北京ヲ出テ汽車ハ南下シタ。事變發端ノ
芦溝橋ヲ渡ツタ。水ノナイ永定河ノ岸ニ城壁ノ吹ッ飛ニダ
宛平城が立ッテタタ。遙カニ地ノ果テニ山影ヲ眺メツツ汽車
ハ走ル沿線ニ見エル畑ニハ黃色イ麥が熟シテタタ。
刈入レタ所モアル。未ダ青イ未熟ノ畑モ見エル。小サイ
枯レカハツタ高粱ノ苗がヤット頭ヲモタゲテタルノモアル。
目ニ見エル限りノ所デハ農作ニ何等ノ統一が見ラレナイ。

夫ニノ畑ニヨツテ作物ト其ノ收獲植付ケノ時期カ異ツテ
 牛ル。地肌ハ日本ニ見ルソレノ如ク黒イモノデハナク
 乾燥シテ疲レ切ツタ白イ茶色イ生氣ノナイ色ヲ見セテタ
 廣イ平野ノ中ニボツン／＼ト井戸カ掘ラレテ年テ年カ水ヲク
 ミアゲルタメニ其ノ縁ヲグル／＼廻ツテロクロヲ廻シテ平ル。

冷タイ水ガザツト地ニ落ナルト幾何モ流レナイ中ニ地中ニ
 消エテシマツタ。コノ廣イ地面ヲ潤ホスタメニ何回水ヲ汲ミ
 上ゲル心算デ平ルノダラウカ。農夫ガニ三人一團ニナツテ
 ユツクリ／＼鍬ヲ振リ上げタリ下シタリシテ平ル。汽車カ
 走ツテ來ルト暫クハ手ヲヤスメテ汽車ヲ見テ平ル。遠クナル
 ト又仕事ヲ始メタノデアラウキアリ／＼ト鍬ノ刃カ太陽ニ光
 ルヲ見エタ。是又ス可キ支那農民赤裸々ノ姿ニ微笑ヲ

禁ジ得ナカツタ。

「七月七日」 口泉驛カラ炭車ニ乗リ替ヘテ炭坑ニ向ツタ。
沿線ノ左右ニハ紅、白、紫色トリハニケシノ花ガ咲イテ斗
夕。一木一草モ見當ラナイ周圍ノ山々ハ白茶色ノ山肌ノ何處
カニ底黒イ色彩ノアルツカ感じジラレル。炭山ノ特徴デスヨト
説明シテクレタ。所々異ク光ル露頭が見エル。左右ニ堆
高ク積マレタ石炭ノ山中デ炭車ハトマツタ。事務所ノ前ニ
日本ノ兵隊サンガ教言戒テシテナル。事務所ノ係員ハ氣
ノ毒氣ニ言ツタ「今日事変記念日デ事務員ハ全部
演習ニ出拂ツテマス。普通デアレバ炭坑ノ中ヲ御案内
サセルノデスガ」 其處デ我々ハ坑道ヲ上カラノゾク事ニ